

KAMI RAKUGO

TAKE
FREE

KAMI RAKUGO BIMONTHLY MAGAZINE 2019 NO.57 January&February

池田・落語みゆーじあむ
(池田市立上方落語資料展示館)

*
合併号

十年の軌跡

かみ落語
桂文枝



第十回

社会人落語日本一決定戦

総集編

【TOPICS】桂文枝 大会総括／第10回ファイナリストインタビュー
第12回アマチュア落語家発会寄席

Finalist Interview

ファイナリストインタビュー



大会を最後まで盛り上げた決勝戦、ファイナリスト十名のインタビューとともに、大会を振り返ります。そして、それぞれの次なる目標は…。

「只々嬉しく、感無量です」

今回が9回目の挑戦となりましたが、何度経験しても感じる、独特の緊張感と高揚感をしみながら演じました。あまり期待せずに待っていたので、決勝進出で自分の名前を呼んでいただいた時は、只々嬉しかったです。鯛という噺は、笑いの中にペースがあって演じていて楽しく、大好きな噺の一つです。決勝戦で文枝師匠から、「私の創った噺を、私より上手く演じられたら複雑な気分です。」

準優勝

浪漫亭 来舞 「鯛(桂三枝作)」

大阪府/蒲田 裕彦 魚屋/56歳



とのお言葉を頂き感無量でした。落ち込んでいる時でも、落語のネタ繰りをすれば元気になります。落語を通じて多くの人と知り合いになります。「笑い」を共有する事で心が明るくなります。今回は準優勝を頂き、周りから多くの祝福を頂きました。次に目指すのはもちろん、第11代名人です。

一め家 さんすけ 「田能久」

神奈川県/伊藤 季久男 会社員/55歳

第3位

「お祭りムードで楽しく過ごせました」

自分が肝に銘じているのは、常に自分が面白いと感じたものをやろうということです。噺中の人物を演じるには、自分が経験したことを引っ張り出してくる作業が必要だと思うので、経験や見てきたものが多い人ほど、強いのかなと思います。決勝が決まって、今まで私に見向きもしなかった人達が話しかけてくださるようになり、嬉しく思っています。大会規模が大きくて注目度も高く、

街全体がお祭りムードで盛り上げてくださるから楽しい気分です。落語を通して、初対面のおじいちゃん、おばあちゃんと仲良くなれた時は落語をやっている良かったなと思います。これからもおじいちゃんおばあちゃんを、いつも笑わせ、楽しませられる社会人落語家でありたいです。



市長賞

桂 紗綾 「初鳴き」

和歌山県/桂 紗綾 専攻学生/33歳

「喋り方の違い… 目から鱗でした」

月亭八光さんに「落語にハマってるんです！」と言ったら「やってみたらええやん！」と言っただき、落語への挑戦を決めました。私だからこそ出来る、アナウンサーが主役の落語を作りたいなあと考えていまして、大会への出場を機に「初鳴き」を作りました。かなり意気込んでいたので決勝にいけないとホッとしたのが本音です。決勝で文枝師匠から「マイクでのお喋りと違って、

広い会場の後ろの席に届く声を心がけて」とアドバイスいただき、目から鱗でした。今は落語をすることを、めちゃくちゃ楽しいと感じています。そして改めて落語家さんを心底尊敬するようになりました。大会を経て落語好きな人に、私の落語愛が少しは認めただけのような気がしています。それが一番嬉しいことです。



満腹亭 いち福 「京阪神日常事変」

大阪府/松岡 好美 主婦/46歳

「大好きな噺を自分のモノに」

「京阪神日常事変」を初めて聴いた時、ゲラゲラ笑ったのを覚えています。覚えていくうちに自分のOL時代を思い出したりして、私にぴったりのネタに巡り会えた！と思っています。過去2回この噺で予選会に挑み、今年が3度目の正直。ファイナリストになることができ、文枝師匠に「自分のモノになっていますね」と言ってもらったことが凄く嬉しかったです。

持ちネタが少ない私ですが、「大好きなネタを皆さんに伝えたい」という思いで何度もさせて頂きます。最近楽しいのは、地方の会が「夫婦の旅行 = 落語」になってきている事。将来はこう言えるようになりたいです。「夫婦円満の秘訣は、色んな土地へ行って落語する事です！」と。





車家 化狐。「祇園会」

くるまや かっご
岡山県/清水 賢二郎 公務員/26歳

「楽しさと気持ちよさを共有できました」

このネタは大学時代に覚えたネタなのですが、お囃子が楽しくて。また江戸っ子らしい啖呵の切れる噺なので、その楽しさと気持ち良さをお客さんに味わってほしいと思ってこのネタを選びました。入賞とはなりませんでしたが、地元イベントに呼んでもらったりして嬉しかったです。地元の人が「入賞できなかった人はみんな五位だね」とも言ってくれて心に残っています。

落語を通して繋がり、知り合いや仲間が増えた時は落語をやっているのが良かったと思います。地元で落語に興味を持ってくれる人を今後も増やしていけたらいいですね。僕の落語を見て「なんかすっきりした」と思ってもらえるような噺を高座にかけていきたいです。

「陰気にならず…元気いっぱい頑張ります！」

普段は京都府八幡市にあるお寺「浄泉寺」で僧侶として勤めております。桂文枝師匠の仰った「声量」が自分に1番足りてないものでした。元気で明るい姿があってこそ楽しんで貰えるのですから、陰気にならずにやれば良かったなと。今後の課題になりました。今大会に向けて決めていたのは「古典」である事です。昔から親と一緒に見ていた落語に対する憧

れがあり、観てくださる方が落語を好きになって頂ければと思いました。その中で自分の魅力を加えられればと試行錯誤を致しました。老若男女・春夏秋冬・喜怒哀楽、様々な機微に触れ、お噺が数多に出来る人間になりたいです。来年の出場を目指して、元気いっぱい頑張ります！



焼酎亭 ちどり「牛ほめ」

しょうちゅうてい ちどり
京都府/大原 哲秀 僧侶/45歳

池田家 夢彦「め組火消しカンパニー」

いけたや ゆめひこ
(桂三枝作)
大阪府/梶田 忠彦 池田市消防本部/59歳

「仲間から祝われ…落語って良いですねえ」

「今度はどんな話をしようか」とネタを探している中で、文枝師匠の「め組火消しカンパニー」という作品に出会えました。私は消防職員ですので、この噺を覚え、3年間色々創意と工夫を入り混ぜてきました。日々、人の動きや、世間の情勢を見たり聞いたりして落語に取り入れて形を整えることができました。決勝進出発表で私の名前が呼ばれた時は、びっくり仰天

でございました。同じ「アマチュア落語家入門講座」皆さんから祝福の言葉を頂戴するなど、忘れられない一日となりました。笑いを通じて出会いがあって、辛いことも笑いで忘れて活路を見出す。落語って本当に良いですねえ。ぜひ第11代名人を目指して、頑張りたいと思います。もう一度、アゼリアホールでしゃべってみたい！



猪名川亭 風鈴「芸者ちどり・24才」

いながわてい ふうりん
(桂三枝作)
大阪府/俵 弓加 会社員/56歳

「自分の実生活を武器に」

私は特徴のある仕事をしている訳でもないし、方言も大阪弁…。何で勝負すればいいんだ？と考えた時に思いついたのが、親子の情愛を、実生活と結び付けて笑いにするということでした。トキばあさんは94歳の私の母であり、同時に私でもあります。私の娘がかもめであり、ちどりでもあるのです。噺の世界観を壊さないように心がけながら実生活を取り入れました。母も来てくれて、晴

れ姿を見てもらえて、親孝行できたかなって思いました。数年前、凄く落ち込んだ時があったのですが、気持ちを奮い立たせてお稽古していたら、落語に出てくるアホな人たちに励まされて元気を取り戻せました。落語ってリハビリにも役立つんですね。来年のことはまだ決めていませんが、また全国の仲間が集まりたいと思います。



狐々亭 さえの助「やかんなめ」

こんこんてい さえのすけ
東京都/山口 昌子 大学職員/48歳

「賞に届かなくても、心に届いた！」

台本を練り直し、表情を研究し、何回も何回も稽古をし、高座にかける…皆さんやっていることだとは思いますが、その繰り返しの日々で。決勝進出が決まった時は、嬉しさと驚きが半々でした。決勝戦を終えて、何人かの方から「入賞すると思った」と言っただけ、賞には手が届きませんでした。お客様の心には私の落語が届いたんだ！と、大変励みになりました。

落語をやっていると、落ち込んだり、苦しい状態に追い込まれても「マクラに使えるかも？」と、ポジティブに受け止められるようになりました。落語は「うつわ」だと思っています。素敵な酒器がお酒を美味しくするように、私は落語という「うつわ」に「人の生き様」という酒を注いで、いろんな人にお届けしたいと思っています。





神楽家 小粋 「桃太郎」

かくらや こいき

滋賀県/巻瀧 大輔 エンジン/41歳



「人生で一番滑った舞台 悔しさをバネにした日本一」

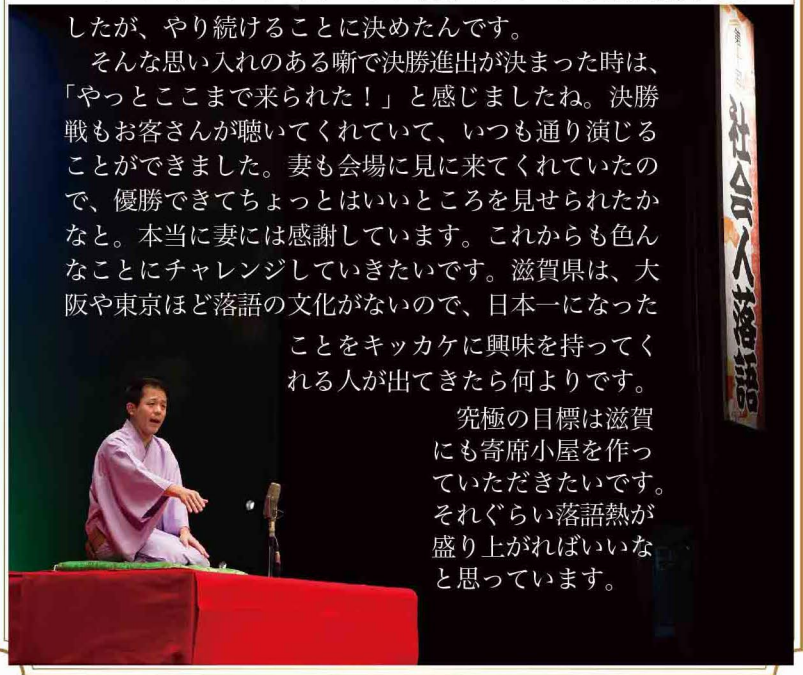
大学時代は落研に所属していたのですが、電機メーカーの研究開発職に就職してからの約10年間は落語から離れていました。この大会の存在を知って、初めて第2回にエントリーしたのですが、その予選会、落語人生で一番滑ったんです。妻が見に来てくれていたのですが、格好悪いところを見せてしまったなど。それが悔しくて「もう一度、ちゃんと落語に取り組もう」と決めました。それ以降も参加し続けましたが予選敗退。決勝を客席から見て、凄いなあと感じていましたね。ネタを面白くするとかの前に、皆さん基礎がちゃんとされていたんです。自分の音声や映像を見てみると、基礎が出来てなかったりして、そこに気付けたのが大きかったですね。

今大会で僕が一番伝えたかったのは、自分なりの親子像。「桃太郎」を改作していく中で子供を抱きしめる仕草を入れようと考えました。試しに座布団を抱いてみたら抱き心地が良い。「これだ!」と思い、昨年やり始めました。賛否両論ありま

したが、やり続けることに決めました。

そんな思い入れのある癖で決勝進出が決まった時は、「やっとここまで来られた!」と感じましたね。決勝戦もお客さんが聴いてくれていて、いつも通り演じることができました。妻も会場に見に来てくれていたので、優勝できてちょっとはいいところを見せられたかなど。本当に妻には感謝しています。これからも色々なことにチャレンジしていきたいです。滋賀県は、大阪や東京ほど落語の文化がないので、日本一になったことをキッカケに興味を持ってくれる人が出てきたら何よりです。

究極の目標は滋賀にも寄席小屋を作っていたきたいです。それぐらい落語熱が盛り上がればいいなと思っています。



総括

桂文枝

今回は社会人落語の良さが大変出た大会だったと思います。多種多様というか、本当にみんな工夫されていて。中でも、声の出し方が凄く上手い方とか、大きな声を出している方が際立ったなという感じでですね。我々落語家も勉強になることが多かった会だと思えます。

この社会人落語日本一決定戦は、倉田池田市長にお願いして始めることができました。それから10年。ここまで続けてこられたのは倉田市長、池田市民の皆様のおかげです。その温かい気持ちを出場者の皆さんも忘れずに、また池田へお友達を連れてきていただきたいですね。春は五月山の桜も綺麗ですのて。

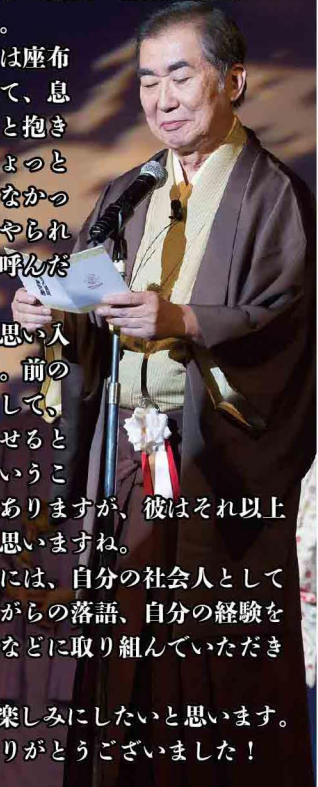
優勝者の喜びを見るに、かなり練習も苦勞もされたんだと思います。みんなやっている桃太郎という落語を、社会人らしい発想でもってやっていただけましたので、皆さんのイメージを裏切るような面白い落語に仕上がったなあと思えます。

一番感動したのは座布団を子どもに見立て、息子のようにギュッと抱きしめた。あれはちょっと我々では思いつかなかったというか、してやられた。あれが優勝を呼んだと思いますね。

僕も桃太郎には思い入れがありましてね。前の部分を全部カットして、子どもに読み聞かせるところから始めるということをやったことがあります。彼はそれ以上の改革をやったと思いますね。

落語に励む皆様には、自分の社会人としての経験を生かしながらの落語、自分の経験を生かした古典落語などに取り組んでいただきたいですね。

また次回大会を楽しみにしたいと思います。そして、今年もありがとうございました!



◆観客動員数

2018年9月29日(土)	
予選会	2220名
12月3日(月)	
決勝戦&大落語会	1650名
合計	3870名

◆特別興行 いけだ大落語会

桂 三度「子ほめ」
桂 吉弥「風邪うどん」
桂 文枝「寝床」
桂 きん枝「格気の独楽」
桂 文枝「皿屋敷」

◆都道府県別

北海道 1名	石川県 1名	和歌山県 3名
宮城県 1名	福井県 2名	岡山県 2名
山形県 3名	長野県 2名	広島県 4名
福島県 1名	岐阜県 1名	山口県 1名
茨城県 1名	静岡県 1名	香川県 1名
栃木県 1名	愛知県 4名	愛媛県 2名
群馬県 1名	三重県 2名	高知県 1名
埼玉県 5名	滋賀県 3名	福岡県 7名
千葉県 4名	京都府 10名	長崎県 4名
東京都 19名	大阪府 48名	熊本県 4名
神奈川県 6名	兵庫県 22名	大分県 1名
富山県 2名	奈良県 2名	沖縄県 1名

◆大会データ

◆年代別	二十代 7名
	三十代 17名
	四十代 42名
	五十代 54名
	六十代 31名
	七十代 18名
	八十代 1名
	その他 4名
◆男女別	男性 117名
	女性 57名
	合計 174名

《決勝戦審査員》大会統括 桂 文枝/桂 きん枝/難波 利三/日高 美恵《凱旋落語》喜怒家 哀楽 《大会実行委員長》池田市長 倉田 薫 《予選審査員》笑福亭 呂鶴/桂 米平/桂 花団治/桂 坊枝/桂 三風/林家 うさぎ/市民審査員六名

第12回

アパチュア落語家発表会寄席

POST OFFICE
木戸銭
無料!
出入り
自由!!
TWO PENCE
MAURITIUS

……第10回社会人
落語日本一決定戦
ファイナリスト

一年頑張った成果を、晴れ舞台上で披露します!

三月二日(土)

十時~十七時三十分

五月家 枝舞
沢崎 美枝子
五月家 小さつ
迫田 勝整
五月家 笑哲
吉田 哲朗
五月家 紅博
駒井 博子
五月家 走平
足立 節男
五月家 小亀
亀井 豊子
池田家 央志ん
黒住 和史
薫風亭 ろん都
柴田 泰子
五月家 湯治郎
山口 正和
天満家 光太郎
坂屋 光徳
猪名川亭 永楽
西田 恵永子
薫風亭 文鳥
石坂 大志
天神亭 おり鶴
竹中 史子
五月家 安庵
安藤 睦夫
五月家 皐月
上月 富佐子
五月家 一桜
佐倉 明雄
猪名川亭 風鈴
俵 弓加
猪名川亭 糸れ喜
阿部 敏男
猪名川亭 喜真理
山口 喜美子

鬼の面
まめだ
時うどん
代書屋
粗忽長屋
化物使い
動物園
王子の孤
首提灯
住吉駕籠
佐々木裁き
時うどん
引出物(桂三枝作)
明石飛脚
火焰太鼓
看板の一
応挙の幽霊
お見立て
星野屋

二月二十四日(日)

十時~十七時十五分

猪名川亭 福美
福永 知美
池田家 桃太郎
治村 忠男
猪名川亭 青波
山崎 みづえ
鶴亀亭 団吉
福永 浩二
池田家 くるみ
山内 菜緒
猪名川亭 尚花
塩見 尚子
猪名川亭 あん光
中野 浩子
五月家 文桜
濱口 文子
五月家 葉麻
藤井 恵子
五月家 八十八
中根 正雄
猪名川亭 まつ茶
筒井 実和子
池田家 先手
菊田 盛仁
池田家 真砂
池田 美砂子
五月家 鶯
片岡 桃代
五月家 稻佐久
中西 博美
猪名川亭 藤桜
藤田 とも子
猪名川亭 水車
水本 敏一
五月家 都々呂
多田 充
鶴亀亭 梅の丞
梅本 邦雄

つる
桃太郎
風呂敷
阿弥陀池
包丁間男
堪忍袋
星野屋
皿屋敷
転失気
代書
G T A
月に群雲
Myロボット時代
権助提灯
子ほめ
高津の富
はてなの茶碗
粗忽長屋
茶の湯

二月二十三日(土)

九時四十九分~十八時十五分

柳々亭 三脚
角野 和広
池田家 かしこ
浦川 澄恵
五月家 建三
富田 健治
五月家 緑
山崎 恵
鶴亀亭 好翁
安河内 勝英
池田家 遊雲
坂井 経夫
猪名川亭 天敏
塚本 史子
薫風亭 笑舎
前山 博正
猪名川亭 なべや
三輪 九郎
五月家 晴太郎
松井 孝之
薫風亭 ぼんぼこ
伊藤 和枝
鶴亀亭 仏法
黒木 康仁
猪名川亭 立雀
立川 賢
猪名川亭 糸ふで
中谷 規美子
八軒家 一升
北田 勝章
猪名川亭 絹馬
梶井 貞次
鶴亀亭 文碁
笠井 文雄
池田家 寅次郎
梶原 博次
池田家 ぼん彩
渡瀬 泰周
薫風亭 秋風
村田 雅秋
池田家 夢彦
梶田 忠彦
池田家 萬葉
出口 隆一

池田の牛ほめ
鬼の面
子盗人
転失気
井戸の茶碗
立切線香
貧乏神
崇徳院
犬の目
読書の時間(桂三枝作)
動物園
ぼやし酒屋
鉄砲勇助
半分雪
天狗裁き
蔵丁稚
子ほめ
読書の時間(桂三枝作)
住吉駕籠
野崎詣り
め組火消し(桂三枝作)
カンパニー
鴻池の犬

奨励賞授与・修了式
講師
桂 三歩・桂 三金

【ご挨拶】倉田 薫 池田市長
奨励賞授与・修了式
講師
林家 染左

奨励賞授与・修了式
講師
桂 枝三郎

落語の基本から学び、「池田の猪買い」「池田の牛ほめ」「好きな演目」で落語家デビューしよう!

第13期 落語みゅーじあむ アパチュア落語家入門講座

! 2大特典! 1/ 「落語みゅーじあむ」での発表会/「落語みゅーじあむ寄席」に1回ご招待!
2/ コース終了後、桂文枝名誉館長から高座名をつけて頂けます。

《日程予定》土曜日 午前9時30分~正午 《主任講師》桂 三金 《人数》20名限定(先着順)
《参加費》32,000円 《持参品》扇子・手ぬぐい・ゆかた・帯・足袋・履物など
《日時》2019年4月6日(土)~2020年2月22日(土)2月23日(日)・2月29日(土)のいずれかまで。

申込方法

3月6日(水)~3月15日(金)までに申込用紙にご記入の上、落語みゅーじあむにFAXか、郵送で送付下さい。
【申込み&問い合わせ先】落語みゅーじあむ TEL:072-753-4440 FAX:072-753-4447

受講生
募集!



記念すべき十回大会が盛況に終わった社会人落語日本一決定戦。来たる二月十三日(水)には、落語みゆーじあむに第十回大会の入賞者が再度集結。毎年人気の記念寄席が開催されます。同日午前中は、五月山公園にて記念植樹も行われます。入賞者三名と、大会統括である桂文枝師匠、実行委員長の倉田市長らも出席し、桜の木を植樹します。

第十回 落語みゆーじあむ 倉田薫 池田市長 社会人落語日本一寄席

神楽家 小粋 磁貫泉 巻別大輔/エンジニア/41歳 「桃太郎」「父の乳」

浪漫亭 来舞 大野府 津藤勝 田中隆夫/落語家/66歳 「天狗裁き」

一め家さんすけ 佐藤孝久/落語家/54歳 初天紳 神谷川康

桂紗綾 福田里 初鳴き 紙入れ

平成31年 2月13日(水)午後1時~午後3時

【本戸銭】前売:500円(当日:800円)

前売チケットは、電話でも受付しています
☎:072-753-4440 FAX:072-753-4447
池田市立上方落語資料館内

【主催・問合せ】落語みゆーじあむ
〒563-0058 大阪府池田市栄本町7-3

第十回 社会人落語記念植樹 社会人落語日本一寄席

記念すべき十回大会が盛況に終わった社会人落語日本一決定戦。来たる二月十三日(水)には、

そして記念寄席は十三時から。十代目名人の神楽家小粋さんを筆頭に、入賞者四名による熱演がご覧いただけます。皆様お誘い合わせのうえ、ぜひお越しください！
(植樹は十時四十分より開催。見学自由)

第十二回 アマチュア落語家発表会寄席

落語みゆーじあむで人気の「アマチュア落語家入門講座」は、今期で十二回目を迎えました。受講生は一年かけて落語のネタを練習し、その成果を落語みゆーじあむの高座で発表します。プログラムは本誌の面に掲載されています。木戸銭無料、出入り自由ですので、皆様お誘い合わせの上、どうぞお気軽にお越しください！

落語みゆーじあむ イベントスケジュール

睦月 January

【休館日】22日(火) 29日(火)

1月19日(土) 9時30分~正午
アマチュア落語講座 (中級・上級)

如月 February

【休館日】5日(火) 12日(火) 19日(火) 26日(火)

2月2日(土) 9時30分~正午
アマチュア落語講座 (中級・上級)

2月9日(土) 9時30分~正午
アマチュア落語講座 (初級・中級・上級)

2月9日(土) 14時
第140回 落語みゆーじあむ寄席

月亭 秀都 「開口一番」
林家 市楼 「花筏」
明石家 のんき 「おたのしみ」

【本戸銭】前売1000円 当日1500円
※前売券発売中(電話予約可 ☎072-753-4440)

2月13日(水) 10時40分~11時30分
第10回 社会人落語記念植樹

2月13日(水) 13時~15時
第10回 社会人落語日本一寄席

【本戸銭】前売500円 当日800円
※前売券発売中(電話予約可 ☎072-753-4440)

2月23日(土) 9時49分~18時15分
第12回 アマチュア落語家発表会寄席

2月24日(日) 10時~17時15分
第12回 アマチュア落語家発表会寄席

【ご挨拶】倉田 薫 池田市長

弥生 March

【休館日】5日(火) 12日(火) 19日(火) 26日(火)

3月2日(土) 10時~17時30分
第12回 アマチュア落語家発表会寄席

3月9日(土) 14時
第141回 落語みゆーじあむ寄席

【本戸銭】前売1000円 当日1500円
※前売券発売中(電話予約可 ☎072-753-4440)



最寄駅：阪急電車宝塚線「池田駅」下車
(阪急梅田駅から急行で約20分)
改札を出て栄町方面へ徒歩約7分
〒563-0058 大阪府池田市栄本町7-3
電話：072-753-4440 FAX:072-753-4447

開館時間：11時~19時
休館日：火曜日、年末年始
※火曜祝日の場合、翌日休館
入館料：無料(落語会などは本戸銭が必要です)
※専用駐車場はございません。

《協力》公益社団法人 上方落語協会

